



## デジタル教材を有効に活用しよう

伊丹市立総合教育センター

所長 永嶺 香織

伊丹市では、GIGAスクール構想に基づき、校内無線LANや1人1台端末、授業支援ソフト、特別支援学校での活用を支援する機器等の整備に取り組んできました。その活用状況が、今年4月に実施された「全国学力・学習状況調査」で明らかになりました。



「全国学力・学習状況調査」における「授業でPC、タブレットなどのICT機器をどの程度使用したか」という質問に対して、「ほぼ毎日・週3回以上」と回答した児童生徒の割合が小学校で78.1% (全国58.2%) と、全国平均を約20ポイント上回り、中学校においては84.7% (全国50.9%) と、約35ポイント上回る結果が示されました。国が求めている「教育のデジタル化の推進」において、本市は学びの道具としてICTを有効に活用していることがわかります。

いよいよ12月からは、デジタル教材の導入が始まります。デジタル教材は、子ども自身が見通しを持ちながら、苦手な内容を繰り返し学習したり、発展的な学習に取り組んだりすることができるものです。また、教員にとっては、一人ひとりの子どもの学習履歴を把握し、定着が乏しい内容について全体で再学習させたり、個別の指導等に活かしたりすることもできます。

中教審答申『令和の日本型学校教育の構築をめざして』では、全ての子どもに基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、思考力・判断力・表現力等や学びに向かう力を育成するためには、子ども一人ひとりの特性や学習進度、学習到達度等に応じて指導方法や教材等を柔軟に提供するなど「指導の個別化」が求められています。この指導の充実を図るためにICTの活用は欠かすことができません。これまでの学習方法とICTのベストミックスを図り、子どもたちの力を最大限に引き出していきたいと思ひます。

# 活用しよう!!! AIドリル

先生は子どもたちの学習履歴を **いつでもタブレット** で確認することができます

中央教育審議会では『令和の日本型学校教育』構築を目指して(答申)の中で、「個別最適な学びと協働的な学びを実現するためには、ICTの効果的な活用と少人数によるきめ細かな指導体制の整備を両輪として進め、児童生徒一人一人に寄り添ったきめ細かな指導、学習活動・機会の充実を図る必要がある」と示されています。  
 今月は「個別最適な学び」の一助として、12月から活用を開始する、AIドリル「ドリルパーク」についてお知らせします。

ようこそドリルパークへ。どちらを使いますか？

## 【授業での活用】



## 【家庭学習での活用】

授業などで子どもたちに取り組ませると**学習理解度の把握**や**個別指導**に活用できます。

これで、今日の授業は終わりです。皆さん、今からドリルを使って復習しましょう。

子どもたちには、先生から配信された宿題がリストアップされます。子どもたちは**配信された課題**に取り組みます。

※宿題の配信は一斉配信・個別配信ができるので、**個々に合った課題**にも取り組ませることができます。

## 【AIを活用して理解度分析】

名前	教科/単元	問1	問2	問3	問4	問5	問6
タカヤ	13-1 乗法公式	済	済	済	済	済	未
マコト	13-1 乗法公式	済	済	済	済	未	未
カオリ	13-1 乗法公式	済	済	済	済	済	済
トモツグ	13-1 乗法公式	済	済	済	済	済	未
マサオ	13-1 乗法公式	済	済	済	済	済	済
シンイチ	13-1 乗法公式	済	済	済	済	済	未
...	...	済	済	済	済	未	未

先生の画面には、子どもたちの取組内容が**リアルタイム**に表示されるので、個別学習や協働学習、一斉学習に活用することができます。

先生の画面では、子ども達の「問題にかかった時間」「正答率」等の**学習履歴が把握**でき、授業に活かすことができます。

### 個別支援



5番からの問題は展開公式を使う問題だったけど、難しかったかな？

では、先生と一緒に振り返ってみようか？

### 協働学習

皆さん、課題について、よく取り組んでいましたね。中でも、皆さんが**つまづいていた問題が(8)**でしたので、班の人と間違えた原因について意見交換を行いましょう。

### 一斉学習



ドリルパークには、子どもたちが**自分の課題**を改善する手立てや、「やる気」を引き出す工夫があります。

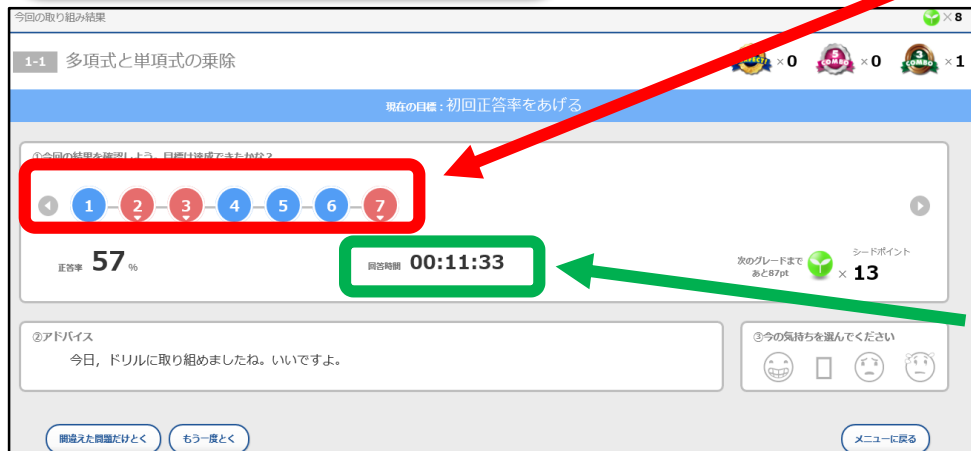
### 4面で

ご紹介します。

# 【自学自習のすすめ】

自分の取り組んだ単元などがわかりやすく表示され、理解が浅い単元の復習などに活用できます。

※正解した問題は青色、間違った問題は赤色で表示されます。



※問題に取り組んだ時間

ドリル内の各単元ごとの確認画面では、取り組んだときにかかった時間や問題ごとの正誤について、確認でき、間違えた問題を選んで解き直すこともできます。



# 【子どものやる気を引きだす】

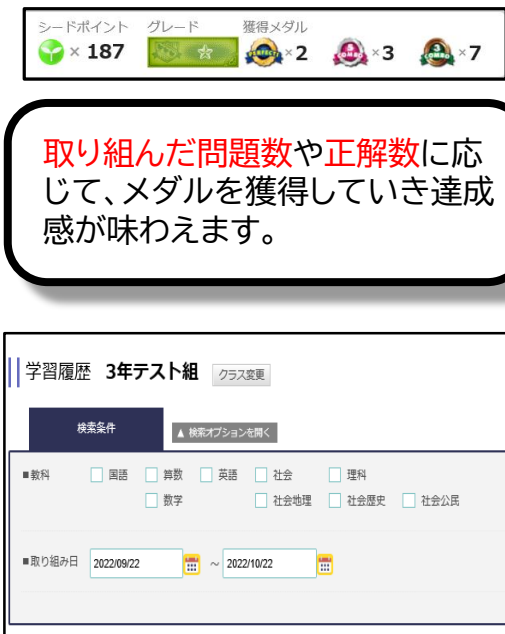
取り組んだ問題数や正解数に応じて、メダルを獲得していき達成感が味わえます。

〇〇さんは毎日  
ゴツゴツ  
がんばってるね



必要なときに、個別や全体に向けてコメントが送れます。

先生に「がんばってるね」ってほめてもらった。またがんばろう！！



発行 伊丹市立総合教育センター  
所在地 〒664-0898 伊丹市千僧1丁目1番  
TEL 072-780-2480  
FAX 072-780-2482  
開館日 月・火・木・金 : 9:00~21:00  
水・土 : 9:00~17:00  
休館日 日曜・祝日、年末・年始  
総合教育センターHP <http://www.itami.ed.jp/>

<教育相談>  
電話 072-772-6171 (電話相談)  
072-780-2484 (来所相談)  
お子様に関する様々な悩みや課題、  
問題等の相談に応じています。  
(来所・電話相談)  
月・火・木・金 : 9:00~18:00  
水・土 : 9:00~17:00

こまったことがあったらすぐ相談

兵庫県教育委員会  
ひょうごっ子SNS悩み相談  
LINEを使って利用できます

